

# 2020年度第2四半期 決算補足説明資料

－ 2020年11月2日 －

京王電鉄株式会社

# 1. 2020年度第2四半期実績

(単位：億円、%)

	2020年度第2四半期の業績		
	2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	対前年増減 (増減率)
営 業 収 益	2,178	1,382	△ 795 ( △ 36.5 )
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ( △ )	239	△ 164	△ 404 ( — )
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 ( △ )	230	△ 158	△ 389 ( — )
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	159	△ 135	△ 294 ( — )
E B I T D A	417	8	△ 408 ( △ 97.9 )
減 価 償 却 費	175	171	△ 4 ( △ 2.6 )
資 本 的 支 出	152	116	△ 35 ( △ 23.4 )

(注) EBITDAは、営業利益又は営業損失 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

## 2. セグメント別の概況

(単位：億円、%)

	営業収益			営業利益又は営業損失 (△)		
	2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	対前年増減 (増減率)	2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	対前年増減 (増減率)
運 輸 業 計16社	675	409	△ 265 ( △ 39.4 )	114	△ 106	△ 221 ( — )
流 通 業 計8社	820	571	△ 248 ( △ 30.3 )	25	△ 10	△ 35 ( — )
不 動 産 業 計6社	208	194	△ 13 ( △ 6.7 )	49	49	△ 0 ( △ 0.9 )
レジャー・サービス業 計10社	388	94	△ 293 ( △ 75.6 )	33	△ 111	△ 145 ( — )
そ の 他 業 計12社	257	260	3 ( 1.4 )	16	14	△ 1 ( △ 10.7 )
連 結 修 正	△ 170	△ 148	22 —	△ 0	△ 0	0 —
連 結 計49社	2,178	1,382	△ 795 ( △ 36.5 )	239	△ 164	△ 404 ( — )

※ 京王電鉄、京王重機整備は複数の事業セグメントに計上。

※ 京王バス東株式会社、京王バス南株式会社、京王バス中央株式会社の3社は2020年10月1日付で合併し、商号を「京王バス株式会社」へと変更。

### 3. セグメント情報（運輸業）

(単位：億円、%)

	2020年度第2四半期の業績		
	2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	対前年増減（増減率）
営 業 収 益	675	409	△ 265 ( △ 39.4 )
（ 鉄 道 事 業 ）	441	269	△ 171 ( △ 38.8 )
（ バ ス 事 業 ）	188	118	△ 69 ( △ 37.1 )
（ タ ク シ ー 業 ）	61	38	△ 23 ( △ 37.9 )
（ そ の 他 ）	12	10	△ 2 ( △ 18.0 )
（ 消 去 ）	△ 29	△ 28	1 ( — )
営業利益又は営業損失(△)	114	△ 106	△ 221 ( — )
（ 鉄 道 事 業 ）	85	△ 63	△ 149 ( — )
（ バ ス 事 業 ）	25	△ 32	△ 58 ( — )
E B I T D A	223	△ 2	△ 226 ( — )
減 価 償 却 費	109	104	△ 5 ( △ 4.6 )
資 本 的 支 出	64	62	△ 2 ( △ 3.8 )

### 3. セグメント情報（運輸業）

#### 鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

		2020年度第2四半期の業績		
		2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	対前年増減（増減率）
輸 送 人 員	定 期	212,689	134,619	△ 78,070 ( △ 36.7 )
	( 通 勤 )	160,081	118,071	△ 42,010 ( △ 26.2 )
	( 通 学 )	52,608	16,548	△ 36,060 ( △ 68.5 )
	定 期 外	139,226	78,167	△ 61,059 ( △ 43.9 )
	合 計	351,915	212,786	△ 139,129 ( △ 39.5 )
旅 客 運 輸 収 入	定 期	18,655	12,666	△ 5,988 ( △ 32.1 )
	( 通 勤 )	16,643	12,060	△ 4,582 ( △ 27.5 )
	( 通 学 )	2,012	605	△ 1,406 ( △ 69.9 )
	定 期 外	23,404	12,719	△ 10,684 ( △ 45.7 )
	合 計	42,059	25,385	△ 16,673 ( △ 39.6 )

## 4. セグメント情報（流通業）

（単位：億円、%）

	2020年度第2四半期の業績			
	2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	対前年増減（増減率）	
営業収益	820	571	△ 248	（ △ 30.3 ）
（百貨店業）	439	214	△ 224	（ △ 51.2 ）
（ストア業）	252	248	△ 3	（ △ 1.4 ）
（書籍販売業）	29	28	△ 1	（ △ 3.8 ）
（ショッピングセンター事業）	73	63	△ 9	（ △ 13.4 ）
（その他）	59	45	△ 14	（ △ 24.7 ）
（消去）	△ 33	△ 28	5	（ — ）
営業利益又は営業損失（△）	25	△ 10	△ 35	（ — ）
（百貨店業）	2	△ 33	△ 36	（ — ）
（ストア業）	4	8	4	（ 105.3 ）
E B I T D A	45	8	△ 37	（ △ 82.3 ）
減価償却費	19	18	△ 1	（ △ 8.2 ）
資本的支出	12	8	△ 4	（ △ 34.2 ）

## 5. セグメント情報（不動産業）

(単位：億円、%)

	2020年度第2四半期の業績		
	2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	対前年増減（増減率）
営業収益	208	194	△ 13 ( △ 6.7 )
（不動産賃貸業）	184	181	△ 3 ( △ 1.7 )
（不動産販売業）	75	54	△ 21 ( △ 27.7 )
（その他）	13	9	△ 3 ( △ 28.3 )
（消去）	△ 65	△ 51	14 ( — )
営業利益又は営業損失(△)	49	49	△ 0 ( △ 0.9 )
（不動産賃貸業）	54	53	△ 1 ( △ 2.9 )
（不動産販売業）	6	2	△ 4 ( △ 60.9 )
E B I T D A	74	74	0 ( 0.4 )
減価償却費	22	23	0 ( 3.1 )
資本的支出	29	5	△ 24 ( △ 81.9 )

## 6. セグメント情報（レジャー・サービス業）

(単位：億円、%)

	2020年度第2四半期の業績		
	2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	対前年増減（増減率）
営業収益	388	94	△ 293 ( △ 75.6 )
（ホテル業）	274	90	△ 183 ( △ 66.9 )
（旅行業）	78	6	△ 71 ( △ 91.0 )
（広告代理業）	56	33	△ 22 ( △ 39.7 )
（その他）	34	18	△ 16 ( △ 46.9 )
（消去）	△ 55	△ 55	△ 0 ( — )
営業利益又は営業損失(△)	33	△ 111	△ 145 ( — )
（ホテル業）	31	△ 93	△ 124 ( — )
E B I T D A	56	△ 87	△ 143 ( — )
減価償却費	23	24	0 ( 4.1 )
資本的支出	27	18	△ 9 ( △ 34.4 )

## 7. セグメント情報（その他業）

(単位：億円、%)

	2020年度第2四半期の業績		
	2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	対前年増減（増減率）
営業収益	257	260	3 ( 1.4 )
（ビル総合管理業）	115	116	1 ( 1.2 )
（車両整備業）	40	36	△ 3 ( △ 9.2 )
（建築・土木業）	66	67	0 ( 0.8 )
（その他）	44	41	△ 2 ( △ 5.2 )
（消去）	△ 9	△ 1	7 ( — )
営業利益又は営業損失(△)	16	14	△ 1 ( △ 10.7 )
E B I T D A	18	17	△ 1 ( △ 7.0 )
減価償却費	2	2	0 ( 22.6 )
資本的支出	0	1	1 ( 316.9 )

## 8. 連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書

### 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2019年度 実績	2020年度 第2四半期 実績	増 減	増 減 要 因
総 資 産	8,766	9,165	398	手元資金の拡充など
負 債	5,032	5,630	598	社債やコマーシャル・ペーパーの発行など
純 資 産	3,734	3,534	△200	親会社株主に帰属する四半期純損失の計上など
負債及び純資産	8,766	9,165	398	
有利子負債	3,295	4,075	780	

(注) 有利子負債は、借入金＋コマーシャル・ペーパー＋社債により算出している。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2019年度 第2四半期 実績	2020年度 第2四半期 実績	増 減	備 考
営 業 活 動 キャッシュ・フロー	300	△14	△315	税金等調整前四半期純利益の減少など
投 資 活 動 キャッシュ・フロー	△209	△197	12	
財 務 活 動 キャッシュ・フロー	△85	694	779	社債の発行による収入など
現 金 及 び 現金同等物の 期 末 残 高	584	900	316	

# 1. 連結業績予想

(単位：億円、%)

	2019年度 実績	2020年度 予想	対前年増減 (増減率)	
営 業 収 益	4,336	3,250	△ 1,086	( △ 25.1 )
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ( △ )	360	△ 250	△ 610	( — )
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 ( △ )	346	△ 230	△ 576	( — )
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	178	△ 280	△ 458	( — )
E B I T D A	722	104	△ 618	( △ 85.6 )
減 価 償 却 費	358	349	△ 9	( △ 2.7 )
資 本 的 支 出	566	414	△ 152	( △ 26.9 )

■ 年間配当金は1株につき40.0円（対前年12.5円減）を予定

## 2. セグメント別業績予想と前提条件

- 事業環境は、直近の基調が継続すると仮定
- インバウンド需要について、2020年度中は回復を見込まない
- グループ全体で不要不急の費用を精査し、通期の費用削減額は137億円を見込む

(単位：億円)

	2020年度通期の業績予想 (対前年増減)		
	営業収益 (増減)	営業利益又は 営業損失(△) (増減)	前提条件
運 輸 業	906 ( △390)	△178 ( △311)	鉄道・バスともに輸送人員は△20%～△30%で推移
流 通 業	1,291 ( △330)	△12 ( △56)	国内消費は徐々に回復基調が続く (百貨店業) 巣ごもり需要は定着・均衡していく (スーパーマーケット事業)
不 動 産 業	464 ( +10)	91 ( △0)	
レジャー・サービス業	338 ( △402)	△189 ( △232)	引き続き厳しい状況が継続するが、Go To キャンペーンなどの機会を捉え、徐々に回復 (ホテル業) 年度末時点で京王プラザホテル (新宿) の稼働率は20%台、札幌エリアは60%程度を見込む
そ の 他 業	647 ( △23)	46 ( △11)	
合 計	3,250 (△1,086)	△250 ( △610)	

### 3. 鉄道事業運輸成績

(単位：千人、百万円、%)

		2019年度 実績	2020年度 予想	対前年増減 (増減率)	
輸 送 人 員	定 期	404,751	291,038	△ 113,713	( △ 28.1 )
	( 通 勤 )	312,585	243,465	△ 69,120	( △ 22.1 )
	( 通 学 )	92,166	47,573	△ 44,593	( △ 48.4 )
	定 期 外	267,814	170,665	△ 97,149	( △ 36.3 )
	合計	672,565	461,703	△ 210,862	( △ 31.4 )
旅 客 運 輸 収 入	定 期	35,866	26,701	△ 9,165	( △ 25.6 )
	( 通 勤 )	32,356	24,926	△ 7,430	( △ 23.0 )
	( 通 学 )	3,510	1,775	△ 1,735	( △ 49.4 )
	定 期 外	44,801	28,161	△ 16,639	( △ 37.1 )
	合計	80,668	54,863	△ 25,805	( △ 32.0 )

# 1. 持続可能な企業であるために

- 「安全」「社会」「環境」「企業統治」における重要テーマに取り組み、中期目標とアクションプランを立てて推進
- 持続可能な開発目標の考え方を取り入れ、事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献していく

CSR項目	重要テーマ	関連するSDGs
安全	事故等の未然防止	  
	減災対策	
	安全対策・老朽化対策	
社会	お客様の利便性・快適性の向上	       
	お客様との対話	
	多世代が生活しやすい沿線づくり	
	地域社会への貢献	
	地域社会・行政との連携	
	人材の活用と働きやすい職場づくり	
	株主・投資家・取引先等への取り組み	
環境	低炭素社会を目指して	      
	自然共生社会を目指して	
企業統治	コーポレート・ガバナンス	  
	コンプライアンス	
	リスクマネジメント	
	情報セキュリティ	

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。